アナログ音声分配器（2CH）

ADA-70MS

ANALOG AUDIO DISTRIBUTION AMPLIFIER

取扱説明書

このたびは、ビデオトロン製品をお買い上げいただきありがとうございました。
安全に正しくお使いいただくため、ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

VIDEOTRON®

この製品を安全にご使用いただくために

警告

誤った取扱いをすると死亡または重傷、火災など重大な結果を招く恐れがあります。

1）電源プラグ、コードは

・定格で定められた電源以外は使用しないでください。

・差込みは確実に。ほこりの付着やゆるみは危険です。

・濡れた手でプラグの抜き差しを行わないでください。

・抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを持って引っ張らないでください。

・電源コードは巻かずに、伸ばして使用してください。

・電源コードの上に重い物を載せないでください。

・機械の取り外しや清掃時等は必ず機械の電源スイッチを OFF にし、電源プラグを抜いてから行ってください。

2）本体が熱くなったら、焦げ臭いにおいがしたら

・すぐに電源スイッチを切ってください。電源スイッチのない機械の場合は、電源プラグを抜くなどして電源の供給を停止してください。機械の保護回路により電源が切れた場合、あるいはブザー等による警報がある場合にもすぐに電源スイッチを切るか、電源プラグを抜いてください。

・空調設備を確認してください。

・しばらくの間機械に触れないでください。冷却ファンの停止などにより異常発熱している場合があります。

・機械の通風孔をふさぐような設置をしないでください。熱がこもり異常発熱の原因になります。

・消火器の設置をお勧めします。緊急の場合に取り扱えるようにしてください。

3）修理等は、弊社サービスにお任せください

・感電・故障・発火・異常発熱などの原因になりますので、弊社サービスマン以外は分解・修理などを行わないでください。

・故障の場合は、弊社　サポートセンターへご連絡ください。

4）その他

・長期に渡ってご使用にならない時は電源スイッチを切り、安全のため電源プラグを抜いてください。

・質量のある機械は一人で持たず、複数人でしっかりと持ってください。転倒や機械の落下によりけがの原因になります。

・冷却ファンが回っている時はファンに触れないでください。ファン交換などは必ず電源を切り、停止していることを確かめてから行ってください。

・車載して使用する場合は、より確実に固定してください。転倒し、けがの原因になります。

・ラックマウントおよびラックの固定はしっかりと行ってください。地震などの災害時に危険です。

・機械内部に異物が入らないようにしてください。感電・故障・発火の原因になります。

注意

誤った取扱いをすると機械や財産の損害など重大な結果を招く恐れがあります。

1）機械の持ち運びに注意してください

・落下等による衝撃は機械の故障の原因になります。
　また、足元に落としたりしますとけがの原因になります。

2）外部記憶メディア対応の製品では

・規格に合わないメディアの使用はドライブ・コネクタの故障の原因になります。
　マニュアルに記載されている規格の製品をご使用ください。

・強い磁場がかかる場所に置いたり近づけたりしないでください。内部データに影響を及ぼす場合があります。

・湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。故障の原因になります。

・大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。

●定期的なお手入れをおすすめします

・ほこりや異物等の浸入により接触不良や部品の故障が発生します。

・お手入れの際は必ず電源を切り、電源プラグを抜いてから行ってください。
　また、電解コンデンサー、バッテリー他、長期使用劣化部品等は事故の原因につながります。
　安心してご使用していただくために定期的な（5年に一度）オーバーホール点検をおすすめします。
　期間、費用等につきましては弊社　サポートセンターまでお問い合わせください。

※上記現象以外でも故障かなと思われた場合やご不明な点がありましたら、弊社　サポートセンターまでご連絡ください。

保証規定

① 本製品の保証期間は、お買い上げ日より1年間とさせていただきます。
なお、保証期間内であっても次の項目に該当する場合は有償修理となります。

(1)ご利用者様での、輸送、移動、落下時に生じた製品破損、損傷、不具合。

(2)適切でない取り扱いにより生じた製品破損、損傷、不具合。

(3)火災、天災、設備異常、供給電圧の異常、不適切な信号入力などにより生じた破損、損傷、不具合。

(4)当社製品以外の機器が起因して当社製品に生じた破損、損傷、不具合。

(5)当社以外で修理、調整、改造が行われている場合、またその結果生じた破損、損傷、不具合。

② 保証は日本国内においてのみ有効です。【This Warranty is valid only in Japan.】

③ 修理責任免責事項について

当社の製品におきまして、有償無償期間に関わらず出来る限りご依頼に沿える修理対応を旨としておりますが、以下の項目に該当する場合はやむをえず修理対応をお断りさせていただく場合がございます。

(1)生産終了より7年以上経過した製品、及び製造から10年以上経過し、機器の信頼性が著しく低下した製品。

(2)交換の必要な保守部品が製造中止により入手不可能となり在庫もない場合。

(3)修理費の総額が製品価格を上回る場合。

(4)落雷、火災、水害、冠水、天災などによる破損、損傷で、修理後の恒久的な信頼性を保証出来ない場合。

④ アプリケーションソフトについて

(1)製品に付属しているアプリケーションは、上記規定に準じます。

(2)アプリケーション単体で販売している場合は、販売終了より3年経過した時点で、サポートを終了いたします。

※紙の保証書は廃止し、製品のシリアル番号で保証期間内外の判断をさせていただいております。

何卒、ご理解の程よろしくお願いいたします。

…… 目 次 ……

この製品を安全にご使用いただくために ..... Ⅰ
保証規定 ..... Ⅲ
1. 概　説 1
《特　長》 1
2. 機能チェックと筐体への取り付け 2
1. 構　成 2
2. 筐体への取り付け 2
3. オーディオケーブルの取り付け方 2
4. POWER ON までの手順 4
5. 基本動作チェック 4
3. 各部の名称と働き 6
1. メインモジュール正面／コネクターモジュール 6
2. メインモジュール基板面 6
4. 操作方法 10
1. 基本操作 10
5. SNMP 12
6. トラブルシューティング 13
7. 仕　様 15
1. 機　能 15
2. 定　格 15
3. 性　能 16
8. ブロック図 16

1. 概　説

ADA-70MSは600Ω負荷対応平衡アナログ音声分配器です。2系統の独立した入力があり、それぞれ4分配することができます。スイッチの設定で1系統を8分配することもできます。

入力部の+4dB、-4dBアッテネーターを使用することで動作レベルが+4dBm系に変換することができます。

正面のCH1、CH2出力音声レベル調整ボタン及びSNMP経由で各々出力チャンネルの音声レベルを調整することができます。

《特　長》

- 2系統の信号を各4分配するステレオモードと、1系統の信号を8分配するモノラルモードを用途に応じて選択
- 入力信号は、24dBm/24dBuの平衡音声信号に対応 ※1
- 出力音声信号レベルを±6dBの範囲で調整可能
- 入力部に+4dB、-4dBのアッテネーターがあり、動作レベルが0dBm/+8dBm系の音声信号を+4dBm系に変換して分配することが可能
- SNMP通信経由で各々出力チャンネルの音声レベルを調整することが可能 ※2 ※3
- 正面の出力レベル調整ボタンでCH1、CH2の出力レベルを個別に行うことが可能

※1　入力インピーダンスは600Ω/Hi(10kΩ以上)に切り替えます。

※2　SNMP通信経由の調整方法は基板上のディップスイッチ1番で有効します。

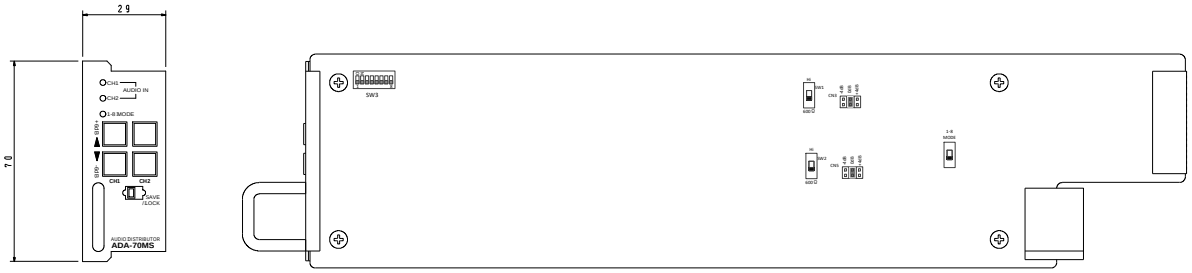
※3　入力音声チャンネルごとに出力音声レベルが調整できます。

2. 機能チェックと筐体への取り付け

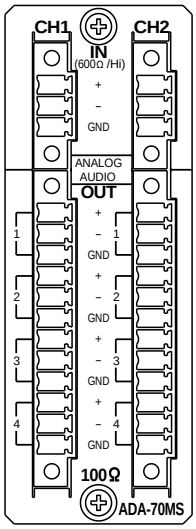
1. 構 成

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	音声分配モジュール	ADA-70MS	1	
2	コネクターモジュール		1	
3	3 極ターミナルブロックコネクター	15EDGKM-3.5-03P-14-00A(H)	2	コネクターモジュールに実装済み
4	12 極ターミナルブロックコネクター	15EDGKM-3.5-12P-14-00A(H)	2	コネクターモジュールに実装済み
5	取扱説明書		1	本書

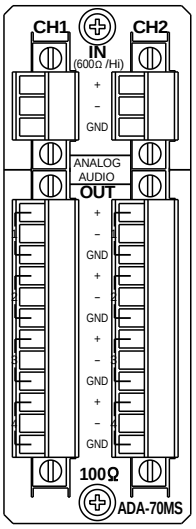
(1)メインモジュール



(2)コネクターモジュール



ターミナルブロック無



ターミナルブロック有

2. 筐体への取り付け

ご使用の際には、コネクターモジュール及びメインモジュールを筐体に取り付けてください。筐体はVbus-70Cシリーズのいずれにも対応します。実装方法については「Vbus-70Cシリーズ取扱説明書」を参照してください。

3. オーディオケーブルの取り付け方

音声信号の接続は先バラの平衡ケーブルを使用します。

出荷時コネクターモジュールに取り付けてあるターミナルブロックの両端のネジをマイナスドライバーで緩め、ターミナルブロックを引き抜きます。

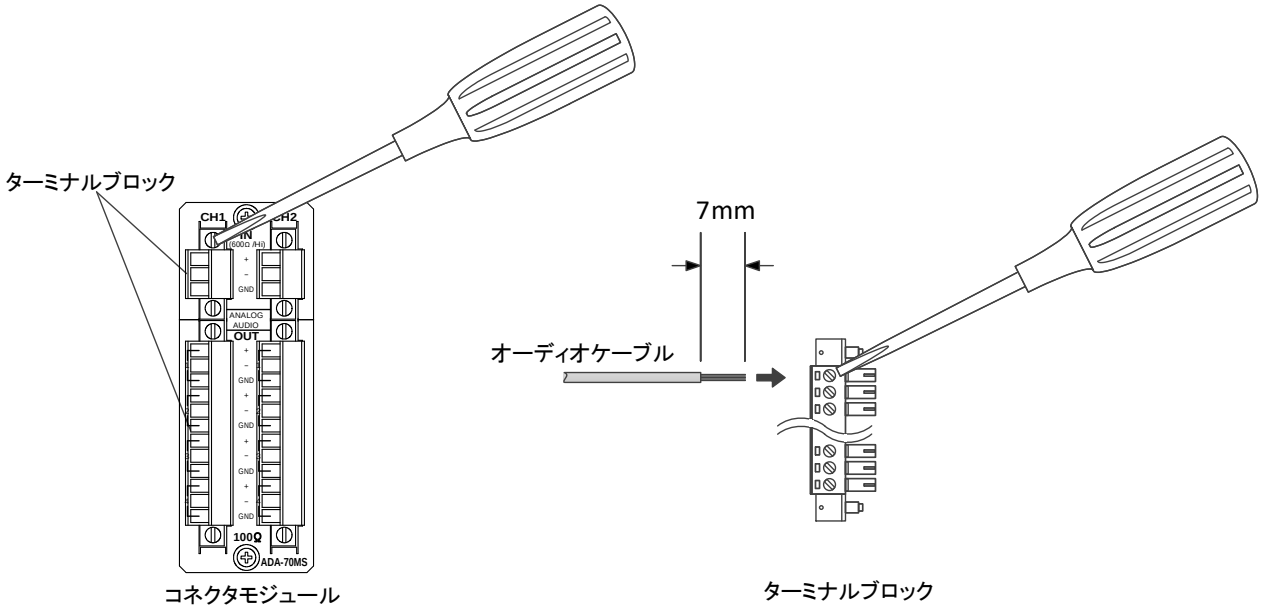
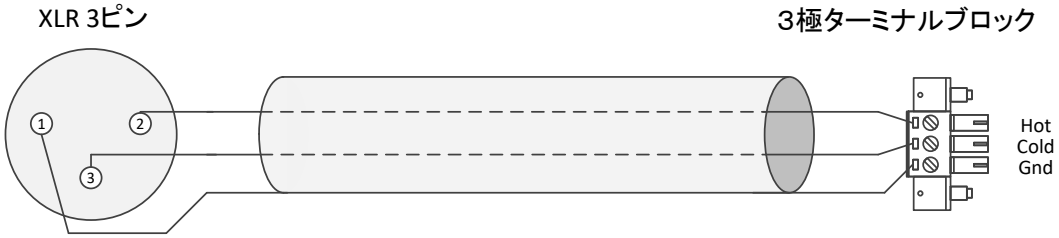


図 2-1 オーディオケーブルの取り付け方

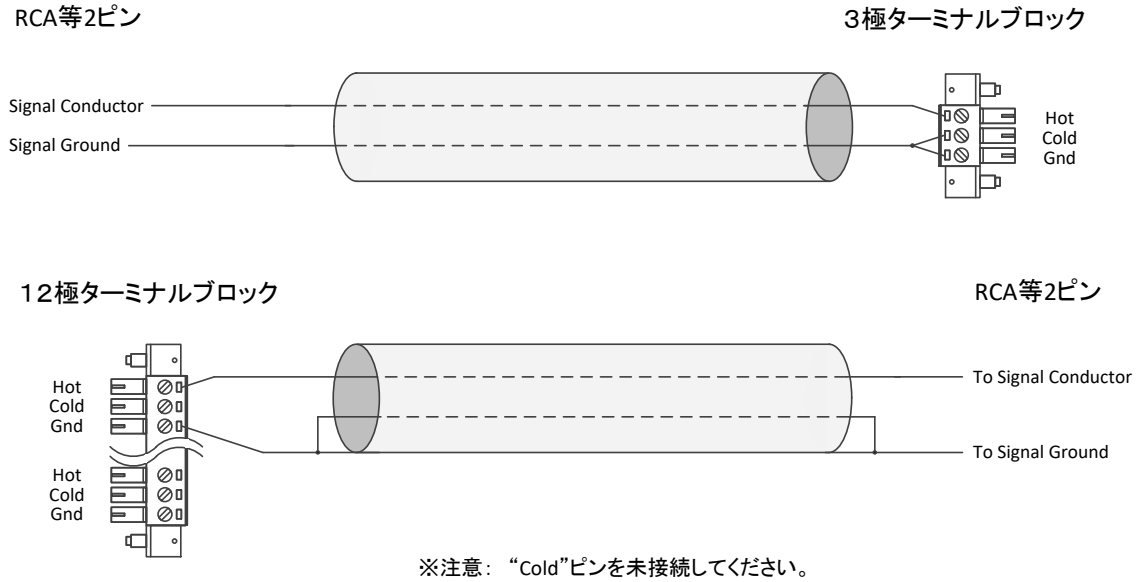
引き抜いたターミナルブロックのケーブル固定用ネジをドライバーで緩め、オーディオケーブルをターミナルブロックに挿入し、ドライバーでネジを締めてケーブルを固定します。オーディオケーブルの被覆は7mmカットしたものをご使用ください。

◆オーディオケーブルの結線接続は下記に参照してください。

（1）平衡接続



（2）不平衡接続



4. POWER ON までの手順

（1）ドライバーでコネクターモジュールに付属のターミナルブロックのネジを緩め、取り外します。

（2）ANALOG AUDIO INのターミナルブロックとアナログ音声の供給元を平衡ケーブルで接続します。

（3）ANALOG AUDIO OUTのターミナルブロックとアナログ音声の分配先を平衡ケーブルで接続します。

（4）取り外したターミナルブロックをコネクターモジュールに取り付け、ドライバーでネジを締めます。

（5）筐体の電源プラグをAC100Vのコンセントに接続します。

（6）コネクターモジュール及びメインモジュールを筐体へ正しくセットします。

（7）筐体の電源スイッチを投入します。

5. 基本動作チェック

下記の操作で本機が正常に動作していることをチェックします。
正常に動作しない場合は「6. トラブルシューティング」を参照してください。

（1）ANALOG AUDIO IN CH1にVTR等の平衡アナログ音声出力信号を入力します。

（2）ANALOG AUDIO OUT CH1の平衡アナログ音声出力信号をアンプ内蔵モニタースピーカーへ入力します。

（3）ADA-70MSの電源を投入し、VTRの音声がスピーカーから出力されていることを確認してください。

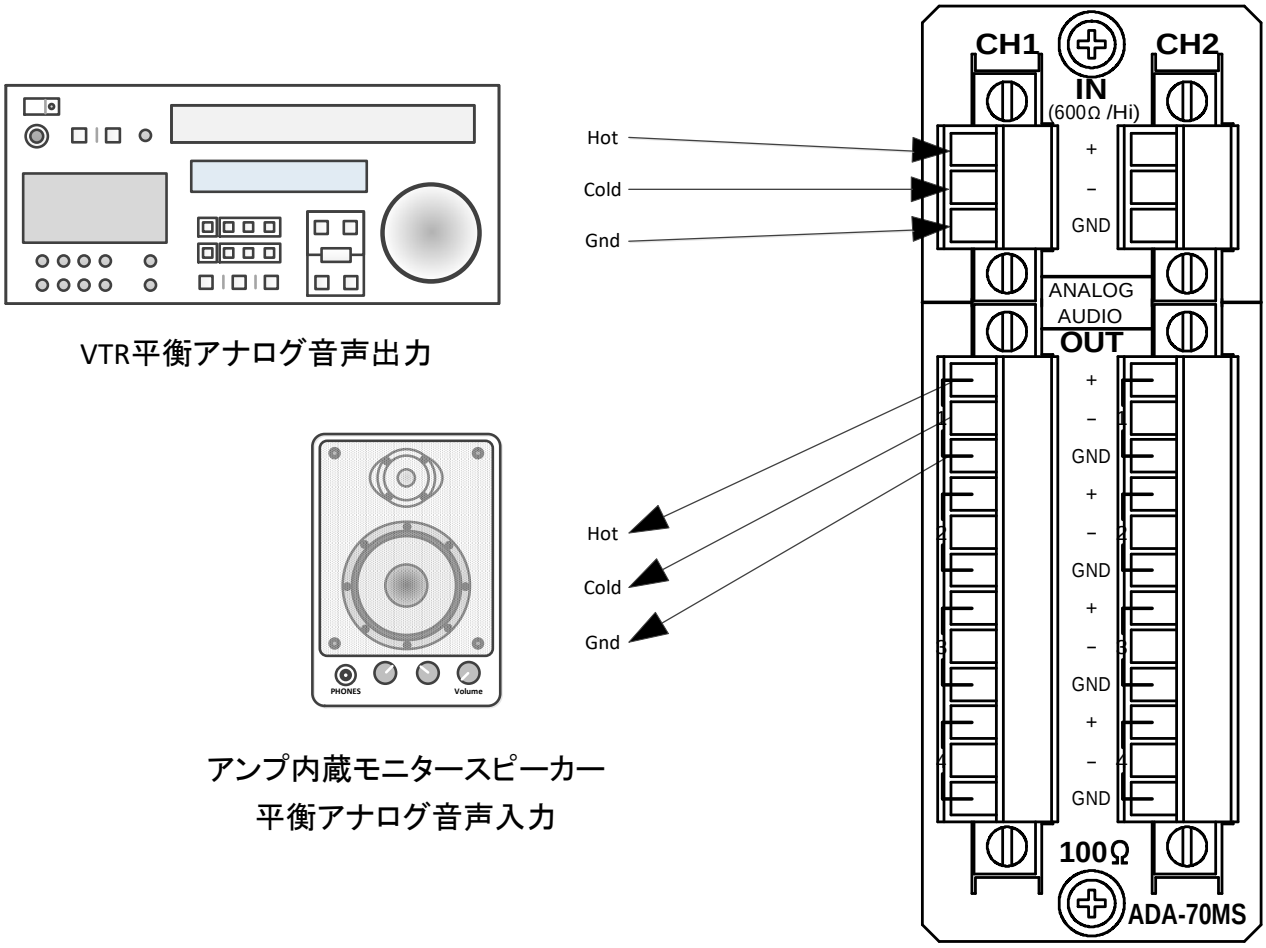


図2−2　基本動作チェック

3. 各部の名称と働き

1. メインモジュール正面／コネクターモジュール

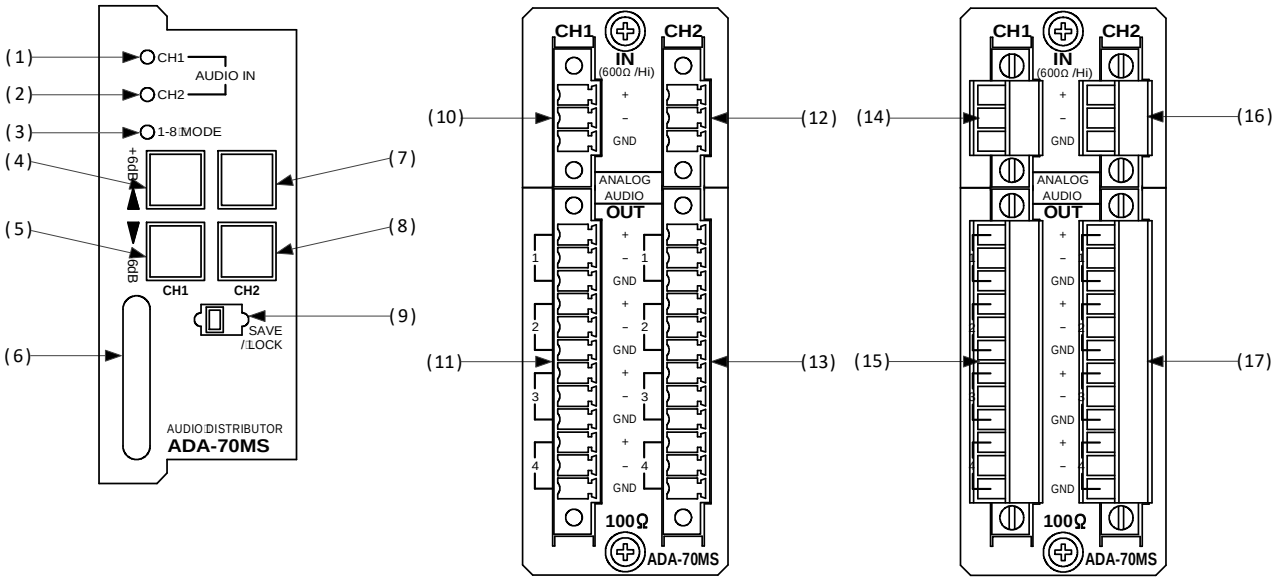


図3-1a　各部の名称と働き

2. メインモジュール基板面

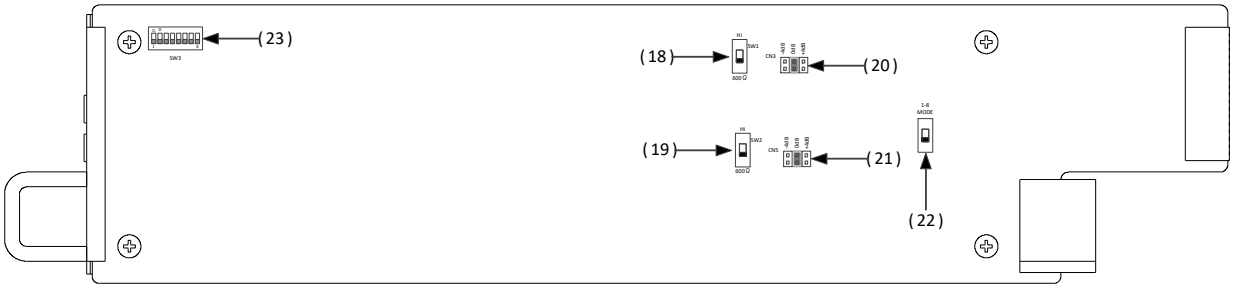


図3-1b　各部の名称と働き

（1）AUDIO IN CH1 LED

ANALOG AUDIO IN CH1に、およそ-40dBm以上の音声信号が入力された時、緑色に点灯します。
工場出荷時設定では、-40dBm以下の音声が連続すると消灯します。入力音声ミュート機能が無効です。
入力音声ミュート機能が有効の場合、CH1入力音声ミュートステータスが検出されたら、筐体のSNMPボードでSNMPトラップが発行されます。入力音声ミュート検出時間をDIP SWITCHの設定で変更（MUTE OFF/3/5/7/10/20/40/60秒）できます。簡易的に入力音声信号の無音監視ができます。

※S/Nが悪い音声信号を入力した場合、無音の検出ができず、常にLEDが点灯する場合があります。

（2）AUDIO IN CH2 LED

ANALOG AUDIO IN CH2に、およそ-40dBm以上の音声信号が入力された時、緑色に点灯します。
工場出荷時設定では、-40dBm以下の音声が連続すると消灯します。入力音声ミュート機能が無効です。
入力音声ミュート機能が有効の場合、CH2入力音声ミュートステータスが検出されたら、筐体のSNMPボードでSNMPトラップが発行されます。入力音声ミュート検出時間をDIP SWITCHの設定で変更（MUTE OFF/3/5/7/10/20/40/60秒）できます。簡易的に入力音声信号の無音監視ができます。

※S/Nが悪い音声信号を入力した場合、無音の検出ができず、常にLEDが点灯する場合があります。

（3） 1-8 MODE LED

分配モードは AUDIO IN CH1の信号を8分配するモノラルモードに設定されたと時、緑色に点灯します。

（4） CH1出力音声レベル調整ボタン＋

CH1出力の音声レベルを±6dB範囲で“約+0.1dB”ステップ“で微調整できます。

※1回押すと“約+0.1dB”ステップで微調整できます。+6dB付近まで調整すると調整ステップ値が多少粗くなります。

※【CH1出力音声レベル調整ボタン-】と同時に2秒押すと設定前の値に戻ります。

（5） CH1出力音声レベル調整ボタン-

CH1出力の音声レベルを±6dB範囲で“約-0.1dB”ステップ“で微調整できます。

※1回押すと“約-0.1dB”ステップで微調整できます。+6dB付近まで調整すると調整ステップ値が多少粗くなります。

※【CH1出力音声レベル調整ボタン＋】と同時に2秒押すと設定前の値に戻ります。

（6） 取手

筐体への取り付け、取り外しなどを行う場合はこの部分を持ちます。

（7） CH2出力音声レベル調整ボタン+

CH2出力の音声レベルを±6dB範囲で“約+0.1dB”ステップ“で微調整できます。

※1回押すと“約+0.1dB”ステップで微調整できます。+6dB付近まで調整すると調整ステップ値が多少粗くなります。

※【CH2出力音声レベル調整ボタン-】と同時に2秒押すと設定前の値に戻ります。

（8） CH2出力音声レベル調整ボタン-

CH2出力の音声レベルを±6dB範囲で“約-0.1dB”ステップ“で微調整できます。

※1回押すと“約-0.1dB”ステップで微調整できます。+6dB付近まで調整すると調整ステップ値が多少粗くなります。

※【CH2出力音声レベル調整ボタン＋】と同時に2秒押すと設定前の値に戻ります。

（9） パネルロックスイッチ

CH1、CH2の出力音声レベル調整モードを開始し、CH1、CH2の出力音声レベルを調整できます。

※“SAVE / LOCK”側に設定するとCH1、CH2の出力音声レベル調整モードを終了し、
設定値の変化があった場合、設定バックアップを行います。

※SNMP経由の出力音声レベル調整が有効の場合、CH1、CH2の出力音声レベル調整モードを
開始している状態であればSNMP経由の出力音声レベル調整が無効です。

（10） ANALOG AUDIO IN CH1

CH1平衡アナログ音声信号の入力部分です。

出荷時、着脱式3極ターミナルブロックがネジで固定されています。

（11） ANALOG AUDIO OUT CH1

CH1平衡アナログ音声信号の4分配出力部分です。

出荷時、着脱式12極ターミナルブロックがネジで固定されています。

（12） ANALOG AUDIO IN CH2

CH2平衡アナログ音声信号の入力部分です。

出荷時、着脱式3極ターミナルブロックがネジで固定されています。

（13） ANALOG AUDIO OUT CH2
CH2平衡アナログ音声信号の4分配出力部分です。
出荷時、着脱式12極ターミナルブロックがネジで固定されています。

（14）CH1の入力3極ターミナルブロック
出荷時、着脱式3極ターミナルブロックが（9）にネジで固定されています。
※ケーブルの取り付け方は「２．３．オーディオケーブルの取り付け方」を参照してください。

（15） CH1の出力12極ターミナルブロック
出荷時、着脱式12極ターミナルブロックが（10）にネジで固定されています。
※ケーブルの取り付け方は「２．３．オーディオケーブルの取り付け方」を参照してください。

（16） CH2の入力3極ターミナルブロック
出荷時、着脱式3極ターミナルブロックが（11）にネジで固定されています。
※ケーブルの取り付け方は「２．３．オーディオケーブルの取り付け方」を参照してください。

（17） CH2の出力12極ターミナルブロック
出荷時、着脱式12極ターミナルブロックが（12）にネジで固定されています。
※ケーブルの取り付け方は「２．３．オーディオケーブルの取り付け方」を参照してください。

（18） ANALOG AUDIO IN CH1　600Ω/Hiインピーダンス終端抵抗切り替えスイッチ
平衡アナログ音声信号入力の終端抵抗切り替えスイッチです。音声信号源の出力インピーダンスに応じて終端抵抗を600Ω、またはHiに設定してください。出荷時設定は600Ω終端になっています。

（19）ANALOG AUDIO IN CH2　600Ω/Hiインピーダンス終端抵抗切り替えスイッチ
平衡アナログ音声信号入力の終端抵抗切り替えスイッチです。音声信号源の出力インピーダンスに応じて終端抵抗を600Ω、またはHiに設定してください。出荷時設定は600Ω終端になっています。

（20）ANALOG AUDIO IN CH1 入力アッテネーター
入力段に+4dB/0dB/−4dBのアッテネーターが付いており、必要に応じて切り替えてください。
出荷時、0dBに設定されています。

（21）ANALOG AUDIO IN CH2 入力アッテネーター
入力段に+4/0−4dBのアッテネーターが付いており、必要に応じて切り替えてください。
出荷時、0dBに設定されています。

（22）分配モード切り替えスイッチ
2 系統の信号を各4 分配するステレオモードと、1 系統の信号を 8 分配するモノラルモードを用途に応じて切り替えてください。出荷時、2 系統の信号を各4 分配するステレオモードに設定されています。
※分配モード切り替えを行う場合必ずDIP SWの4番も同時に切り替えるようにお願いいたします。

（23）DIP SW
動作モードを変更する際に使用するDIP SW（ディップスイッチ）です。ディップスイッチの設定で、SNMP経由で出力音声レベルの調整することや、入力アナログ音声信号のミュート検出の設定すること、入力アナログ音声信号のミュートを検知して、Vbus筐体のTALLY端子（Dsub9ピンの1−6番ピン）からアラームの接点を出力することができます。

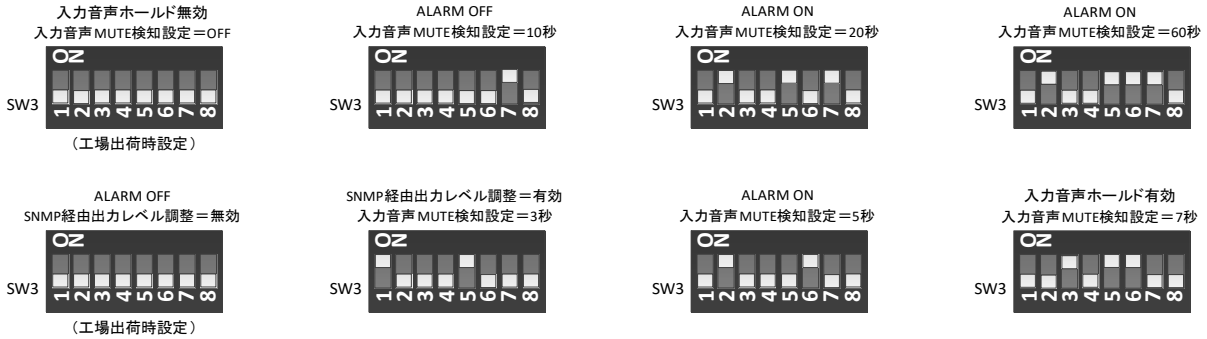
なお、Vbus筐体のアラーム接点出力は、Vbus筐体自身のアラーム信号（FANアラーム、電源アラーム）、及びその他のモジュールが発するアラーム信号とワイヤードORされた出力になります。

注意！　ディップスイッチの設定は、電源を落とした状態で行ってください。
電源投入時に設定が反映されます。

【DIP SWの機能】

ピン番号	機能
1	OFF⇒SNMP経由の出力音声レベル調整機能無効。 ON⇒SNMP経由の出力音声レベル調整機能有効。
2	OFF⇒ALARM OFF。Vbus筐体のTALLYコネクターに入力音声ミュートアラームを出力しない。 ON⇒ALARM ON。Vbus筐体のTALLYコネクターに入力音声ミュートアラームを出力する。
3	入力信号ホールド機能 OFF⇒入力信号に追従。 ON⇒常に入力信号有。
4	ON⇒1->8 モノラルモード、OFF⇒Dual 1->4 ステレオモード ※【1-8 MODE】スイッチと同時に切り替えてください。
5	入力音声ミュート検知機能設定ビット0
6	入力音声ミュート検知機能設定ビット1
7	入力音声ミュート検知機能設定ビット2
8	工場出荷時設定　※工場出荷時設定終了後フロント LED 等点滅します。SNMP のトラップも出します。

【設定例】



【SNMP経由の出力音声レベル調整機能】

DIP SWの１番を“ON”に設定されている場合SNMP経由の出力音声レベル調整機能が有効です。
但し、CH1、CH2の出力音声レベル調整モードを開始している場合SNMP経由の出力音声レベル調整が無効です。

【入力信号ホールド機能】

DIP SWの３番を“ON”に設定されている場合入力音声信号は常に有ることをホールドします。フロントのAUDIO IN CH1/CH2 LEDは常に点灯です。

【入力音声ミュートアラーム出力の判定】

DIP SWの2番を“ON”に設定されていてミュート検出が有効の場合入力音声ミュートを検出されると筐体接点アラームを出力します。

入力音声ミュート検知機能を無効に設定されている場合入力音声ミュートアラームステータスを出力しません。
入力音声ミュート検知機能を有効に設定されている場合入力音声が設定ミュート秒数以上連続無音するとミュートアラームステータスを出力します。

DIP SWの7、6、5番ピン(7 = Bit2, 6 = Bit1, 5 = Bit0)は入力音声のミュート検出機能設定ビットになります。

設定値 (7,6,5) / 機能	000	001	010	011	100	101	110	111
入力音声ミュート検知	無効	3 秒	5 秒	7 秒	10 秒	20 秒	40 秒	60 秒

4. 操作方法

1. 基本操作

(1) 分配モード切り替えスイッチを設定します。ステレオ音声4分配であれば「デフォルト」、入力CH1のモノラル音声8分配であれば"1-8 MODE"に設定してください。
※分配モード切り替えを行う場合必ずDIP SWの4番も同時に切り替えるようにお願いいたします。
ON⇒1->8モノラルモード、 OFF⇒Dual 1->4 ステレオモード

1-8 MODEの設定例は 図4-1を参照してください。

ANALOG AUDIO IN CH1側

(2) 600Ω/Hi 入力インピーダンス終端抵抗切り替えスイッチを設定します。音声の信号源が600Ω終端対応の機器であれば"600Ω"、ローインピーダンス出力の機器であれば"Hi"に設定してください。

(3) 入力アッテネーターは通常"0dB"に設定します。音声の信号源の動作レベルが「0dBm」の時入力アッテネーターを+4dBに設定すると、「+4dBm」の動作レベルに変換して分配することができます。
+4dBの設定例は 図4-1を参照してください。

ANALOG AUDIO IN CH2側

(4) 600Ω/Hi 入力インピーダンス終端抵抗切り替えスイッチを設定します。音声の信号源が600Ω終端対応の機器であれば"600Ω"、ローインピーダンス出力の機器であれば"Hi"に設定してください。

(5) 入力アッテネーターは通常"0dB"に設定します。音声の信号源の動作レベルが「0dBm」の時入力アッテネーターを+4dBに設定すると、「+4dBm」の動作レベルに変換して分配することができます。
+4dBの設定例は 図4-1を参照してください。

(6) 本機はローインピーダンス出力(100Ω)ですが、分配先の機器の入力インピーダンスが600Ω受け、またはハイインピーダンス受けのどちらにも対応しております。出荷時は600Ω受けを想定して調整されておりますので、ハイインピーダンスで受信する場合は受信レベルが多少大きくなります。また、伝送するケーブル長によってはケーブルによる損失が発生するため、受信レベルが小さくなることもあります。この様な場合、出力音声レベルを適宜に調整してください。

ANALOG AUDIO OUT CH1側

（7） ステレオ入力時CH1、CH2間の4分配出力音声レベルが崩れている場合、CH1出力音声レベル調整ボタン±でCH1出力音声レベルを適宜に調整してください。

（8） CH1の出力音声レベル調整は±6dB範囲で小数点以下（約 0.1dB）の細かなステップでの調整はできます。
※1回押すと“約0.1dB”ステップで微調整できます。+6dB付近まで調整すると調整ステップ値が多少粗くなります。
※【CH1出力音声レベル調整ボタン±】を同時に2秒押すと設定前の値に戻ります。

設定前の値に戻る設定例は 図4-1を参照してください。

ANALOG AUDIO OUT CH2側

（9） ステレオ入力時CH1、CH2間の4分配出力音声レベルが崩れている場合、CH2出力音声レベル調整ボタン±でCH2出力音声レベルを適宜に調整してください。

（10） CH2の出力音声レベル調整は±6dB範囲で小数点以下（約 0.1dB）の細かなステップでの調整はできます。
※1回押すと“約0.1dB”ステップで微調整できます。+6dB付近まで調整すると調整ステップ値が多少粗くなります。
※【CH2出力音声レベル調整ボタン±】を同時に2秒押すと設定前の値に戻ります。

設定前の値に戻る設定例は 図4-1を参照してください。

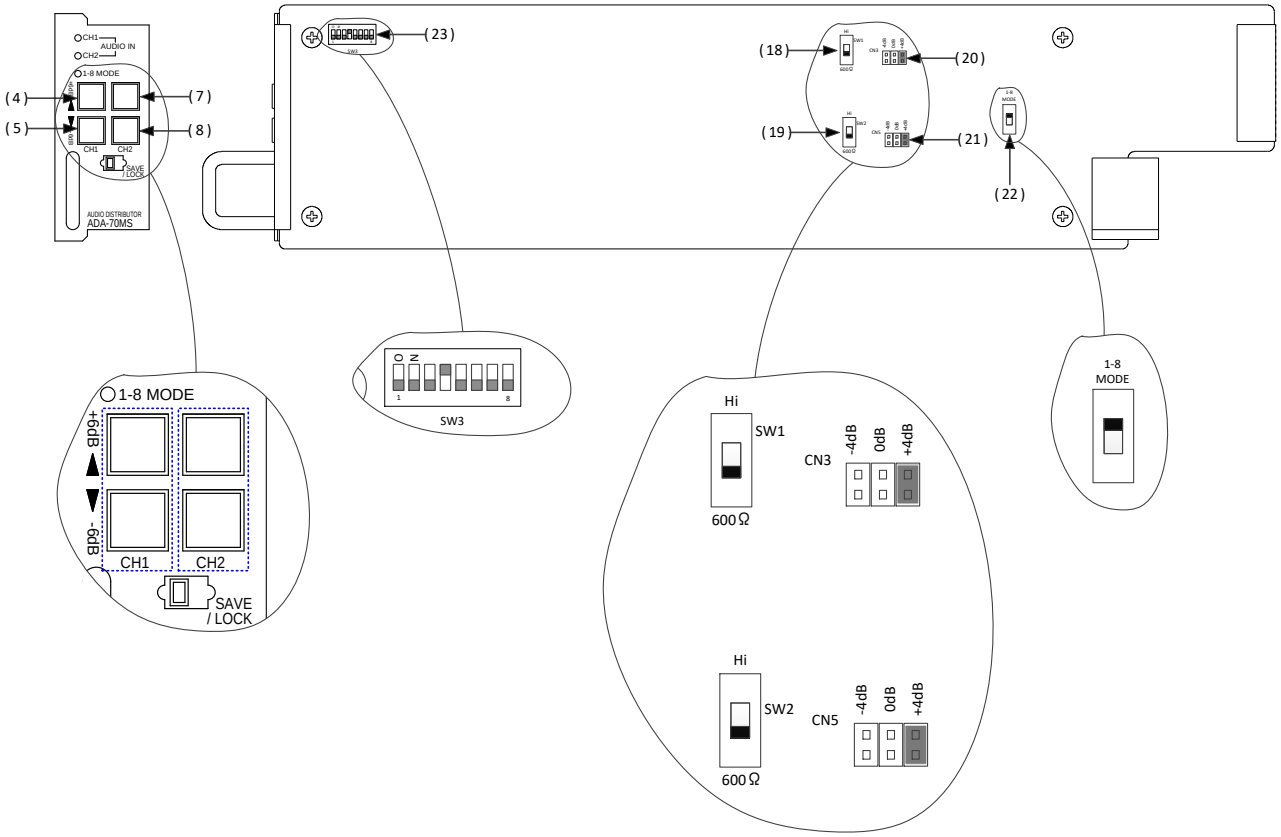


図4-1 操作方法

5. SNMP

Vbus 筐体から SNMP でステータス監視を行う時、ADA-70MS の MIB データは以下の表に対応します。

オブジェクト識別子は、【1. 3. 6. 1. 4. 1. 20120. 20. 1. [機種コード]. 1. 1. [項番]. [Index]】になります。

（旧識別子は、【1. 3. 6. 1. 4. 1. 20120. [Index] . [項番]. 0】となります）

例:機種:ADA-70MS、項番:3、スロット:1 番の場合は【1. 3. 6. 1. 4. 1. 20120. 20. 1. 278. 1. 1. 3. 1】となります。

[機種コード] ・・・ 機種毎に番号が割り当てられています。(ADA-70MS は 278 となります)

[項番] ・・・ 下記表の項番が入ります。(項番＝OID:2 バイト)

[index] ・・・ スロット番号が入ります。(10 スロットタイプの筐体は 1～10が入ります。)

MIB データが変化した時は【TRAP】が発生します。(SNMP または WebServer で更新された項番は【TRAP】が発生しません。)

※SNMP および SNMP TRAP の詳細は Vbus 筐体の取扱説明書を参照してください。

表の内容

アクセス ・・・ R/O＝ReadOnly、R/W＝Read/Write を表します。

TRAP ・・・ MIB データが変化してトラップが発生する物を[○]で表します。

項番	オブジェクト識別子	アクセス	バイト数	内容	実装例	SYNTAX	TRAP
1	Pid	R/O	80	プログラム情報	製品名 ADA-70MS 会社名 VIDEOTRON Corp バージョン 1.00.00 R00 製造日 2019/05/13 MON 製造時 Build-11:51:18	STRING	
3	Kcode	R/O	4	機種コード	SNMP 機種コードで登録したコード 278(d)=116(h)	INTEGER	
21	ErrorStatus	R/O	4	エラーステータスを通知します。 0=エラーなし 1= DIP SW No.8 での設定初期化が有効	0 noError	INTEGER	○
40	Hard	R/O	4	FPGA のバージョン情報 bit0～31:MAIN	英数字 3 文字 R00(初期バージョン)→R01→R02	INTEGER	
1000	Dipsw	R/O	4	ディップスイッチ bit0～7:DIP SW	0	INTEGER	
1001	InputMuteStatus	R/O	4	CH1、CH2 音声入力ミュートステータス bit0=CH1、bit1=CH2 入力ミュートで"1"	Normal(0), Input1Mute(1), Input2Mute(2), Input1and2Mute(3)	INTEGER	○
1002	Ch1OutputLevelADJ	R/W	4	CH1 出力音声レベル調整 ±6dB bit0～31: CH1 Output Audio Level Adj -65 ～ +65	10(約+1dB)	INTEGER	○
1003	Ch2OutputLevelADJ	R/W	4	CH2 出力音声レベル調整 ±6dB bit0～31: CH2 Output Audio Level Adj -65 ～ +65	-10(約-1dB)	INTEGER	○

※お手持ちのVbus筐体がSNMP対応したものか分からない場合、筐体のシリアルナンバーを確認し、
当社までお問い合わせください。

6. トラブルシューティング

トラブルが発生した場合の対処法です（文中の→は対処方法を示しています）。
筐体のトラブルに関しては、筐体の取扱説明書もあわせてご覧ください。

現 象　電源が入らない！

原 因　・筐体の電源ケーブルは接続されていますか？
・筐体の電源スイッチはON側になっていますか？

現 象　まったく動作しない！

原 因　・筐体の電源ケーブルは接続されていますか？
・筐体の電源スイッチはON側になっていますか？
・メインモジュール（基板）は正しく挿入されていますか？

現 象　起動後フロントAUDIO IN CH1/CH2 LED、フロントSWのLED、LOCKスイッチLEDなどが点滅している！

原 因　・DIP SWの8番ピンがONになっていませんか？
→「3.各部の名称と働き」のDIP SWの項を参照し、確認してください。

現 象　音声が出力されない！

原 因　・入力音声信号はアナログ音声ですか？
・分配出力先に接続されている機器の入力はアナログ音声入力ですか？
・入出力の信号配線は適切ですが？
・入力音声信号は正常ですか？音は出ていますか？
→「2. 3. オーディオケーブルの取り付け方」、「3. 各部の名称と働きを参考にして、コネクターとケーブルが正確に接続されているかご確認ください。

現 象　Vbus筐体のTALLYコネクターからアラームが出力される！

原 因　・DIP SWの2番ピンがONになっていませんか？
・CH1またはCH2の入力アラームステータスは出力していますか？
→「3.各部の名称と働き」のDIP SWの項を参照し、確認してください。
・筐体正面にある、FAN、電源のアラームランプは点滅していませんか？
→筐体のFAN、電源が故障している可能性があります。
当社までご連絡ください。
・モジュールを引き抜いてもアラームが出力されますか？
→モジュールが故障している可能性があります。
当社までご連絡ください。

現 象　音声レベルが合わない！

原 因　・600Ω/Hi入力インピーダンス終端抵抗切り替えスイッチは正しく設定されていますか？

・入力アッテネーターは正しく設定されていますか？

・出力音声レベルの設定が適切ですか？

→「4. 操作方法」を参考にして、入出力のインピーダンス等を確認してください。

現 象　入力信号がないのにフロントAUDIO IN CH1/CH2 LEDが点灯している！

原 因　・DIP SWの3番ピンがONになっていませんか？

・入力音声信号ケーブルを接続していてS/Nの悪い音声信号出力機器に接続されていませんか？

・機器間の配線が変なアースループになっていませんか？

→「3.各部の名称と働き」のDIP SWの項を参照し、確認してください。

お問い合わせは、当社までご連絡ください。

7. 仕 様

1. 機 能

（1）ADA-70MS

入力インピーダンス切り替え	600Ω ／Hi（10kΩ以上） ※基板上のスイッチで選択します。
入力アッテネーター	+4dB / 0dB / −4dB ※基板上のジャンパーピンで選択します。
分配モード切り替え	板上のスイッチで 2 種類の分配モードを選択します。2 系統の信号を各 4分配するステレオモードと、1 系統の信号を 8 分配するモノラルモードがあります。
出力音声レベル調整	出力の音声レベルを±6dB範囲で“約0.1dB”ステップで微調整できます。 本体正面の出力音声レベル調整ボタン、またはSNMP通信経由で行います。 ※入力音声チャンネルごとに出力音声レベルが調整できます。
入力音声ミュート検知	入力されたアナログ音声が無音状態を続いて設定ミュート秒数を超えるとミュートアラームステータスを出力します。 ※ALARM ONに設定しているとVbus筐体のTALLYコネクターに入力音声ミュートアラームを出力します。

2. 定 格

（1）ADA-70MS

入力信号 ・ANALOG AUDIO IN CH1、CH2	Max 24dBm / 600Ω or Max 24dBu / Hi（10kΩ以上） 平衡3極着脱式ターミナルブロック 各1系統
出力信号 ・ANALOG AUDIO OUT CH1 1～4 CH2 1～4	Max 24dBm / 100Ω（600Ω負荷対応） 平衡12極着脱式ターミナルブロック 各1系統 Max 24dBm / 100Ω（600Ω負荷対応） 平衡12極着脱式ターミナルブロック 各1系統 ※受信側のインピーダンスは 600Ω以上でご使用ください。
質量	約0.28kg（コネクターモジュールを含む）
動作温度	0～40℃
動作湿度	20～80%RH（ただし結露なき事）
消費電力	最大負荷時※1： 15.0VA (5V, 3.0A) 標準負荷時※2： 6.5VA（5V, 1.3A） ※1測定条件：+24dBm 入力、+24dBm 出力、全出力 600Ω負荷時 ※2測定条件：+4dBm 入力、+4dBm 出力、全出力 600Ω負荷時

3. 性 能

（1）ADA-70MS

入力特性

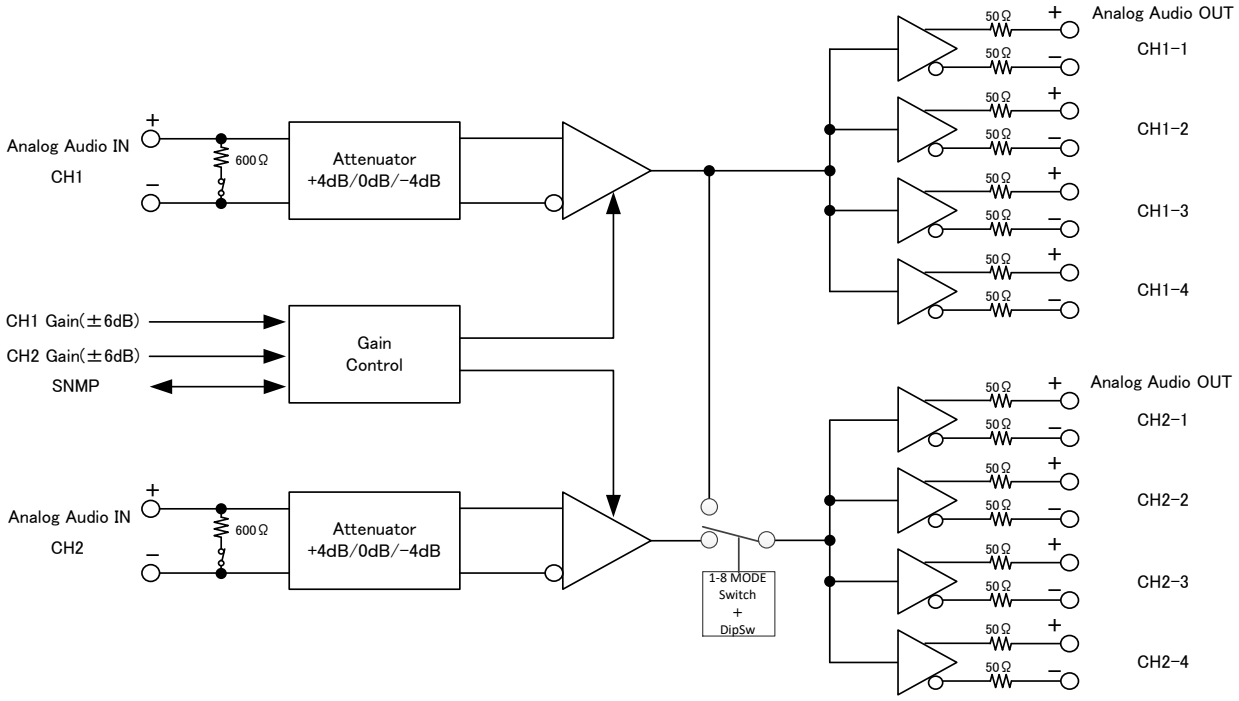
・ANALOG AUDIO IN
CH1、CH2
最大入力レベル　　+24dBm / +24dBu

出力特性

・ANALOG AUDIO OUT
CH1 1～4、CH2 1～4
・最大出力レベル　　+24dBm / +24dBu
・周波数特性　　20Hz～20kHz ±0.5dB以内
・波形歪み　　0.1%以下 ※3
・S/N　　80dB以上 ※3
・クロストーク　　+24dBm 100Hz～7.5kHzにて80dB以上

※3 測定条件:+4dBm にて 22Hz～22kHz のフィルターを使用

8. ブロック図



※注外観及び仕様は変更することがあります

無断転写禁止

・本書の著作権はビデオトロン株式会社に帰属します。
・本書に含まれる文書および図版の流用を禁止します。

お問い合わせ

製品に関するお問い合わせは、下記サポートダイヤルにて承ります。

本社営業部/サポートセンター TEL 042-666-6311
大 阪 営 業 所 TEL 06-6195-8741

ビデオトロン株式会社 E-Mail：sales@videotron.co.jp
本 社 〒193-0835 東京都八王子市千人町 2-17-16
大阪営業所 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島6-8-8 花原第8ビル 5F

ビデオトロンWEBサイト https://www.videotron.co.jp

101955R04

本書の内容については、予告なしに変更する事がありますので予めご了承下さい。